

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アーツカレッジヨコハマ
設置者名	学校法人 情報文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成においては、年内に授業計画を作成し、その内容を含め年度末までに各学科長と教科担当教員が作成する。また、新年度第1回目の授業において学生に公表している。さらに授業担当教員より「学習の到達目標や年間の授業内容および定期考査」について伝え、期末試験の実施方法や評価について説明を行っている。課題提出においては学期ごとに提出時期を伝え、提出された課題を評価する旨を伝えている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生便覧 授業時配布資料(シラバス)</p> <p>学校事務所保管。請求があれば閲覧可能。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学期末に行われる成績評価は、期末試験および提出課題（レポート）等の成績、平常の成績及び出席率を総合評価して決定している。各教科の評価方法はA、B、C、Dの4段階評定である。素点が80点以上「A」、60点以上「B」、50点以上「C」、50点未満を「D」とする。この4段階評価のうち、A、B、Cは合格、Dは不合格となり、単位が取得できない。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価の方法は(試験点+授業点-欠席率)/2で算出する。この算出結果が50点未満の場合は、その科目の単位は認定されない。ただし期末試験または追試験の結果が合格点に満たない場合は、再試験・再課題を行うことができる。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

学生便覧  
学生向けポータルサイト  
学校事務所保管。請求があれば閲覧可能。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学年の教育課程の修了は、期末試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて修了課程の認定を行う。生徒が所定の全教育課程を修了したと認められるときは、卒業証書を授与する。さらに各学科において本校の定める進級・卒業要件である単位時間を満たしていることが必要である。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

学則  
学生便覧  
学校事務所保管。請求があれば閲覧可能。